

いつまでも 誰もが安心して 暮らせるまち

おさゆき

長行校区ふくしの5か年計画



ふれあいネットワーク

長行校区社会福祉協議会

活動期間:令和6年(2024年) ~ 令和10年(2028年)

発行:令和6年(2024年)3月

# 社会福祉協議会の役割と5か年計画に向けて

長行校区の社会福祉協議会は地域の団体と連携して  
皆さんが元気で楽しく安全に暮らせるために  
日頃から色々な活動をしています

## 福祉

- ・民生委員
- ・福祉協力員
- ・年長者クラブ
- ・保護司

## 健康

- ・食生活改善推進員
- ・スポーツ推進員
- ・体育委員会

## 連携団体

- ・まちづくり協議会
- ・自治連合会
- ・婦人会
- ・市民センター

## 社会福祉協議会

## 防災・見守り

- ・生活安全パトロール隊
- ・自転車パトロール隊
- ・市民防災会

## 子育て支援

- ・主任児童委員
- ・子育てサポーター
- ・小学校PTA
- ・小学校・中学校



現在の問題や気になることなどを改善し  
さらに住みよい長行校区にしていくために  
5か年計画を立て実行していきます

# もくじ

- ・ 5か年計画策定に当たって ..... 1
- ・ 第1章 計画策定に当たって ..... 2
  - 1, 計画の内容
  - 2, 計画の期間
  - 3, 計画の作成経過
  - 4, 策定委員
  - 5, 策定委員名簿
- ・ 第2章 長行校区の現状と課題 ..... 4
  - 1, 地域の特性や福祉課題
  - 2, 人口・世帯数・高齢化率
  - 3, 社会資源
  - 4, アンケート
- ・ 第3章 目標と計画 ..... 6
  - 1, 基本理念
  - 2, 基本目標
  - 3, 実施項目
  - 4, 重点実施項目
- ・ 第4章 計画の推進 ..... 10
  - 1, 計画の承認と周知
  - 2, 計画を推進するための体制
  - 3, 第二次計画の策定
  - 4, 策定活動の経緯



## 5か年計画策定に当たって



長行校区社会福祉協議会  
会長 日野正義

長行校区では、住民の皆さんが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民の方や社会福祉の関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。特に、北九州市で平成5年に開始されたふれあいネットワーク活動にも取り組み、「自分たちの地域の福祉問題は、自分たちで解決していく」という目的の下、見守り・話し合い・助け合いの活動を中心に福祉活動を進めてきました。

現在は、全国的に本格的な少子高齢社会となり、世帯構造についても大きな変換期を迎えています。北九州市においても急速な少子高齢化や、障害を持つ人の増加、孤独死やヤングケアラーの問題など生活課題は一層の多様化を見ており、地域福祉の重要性が高まってきています。

また、令和2年からは新型コロナウイルス感染予防と地域活動との共存という難しい局面にも立たされています。その中で行政と民間団体との役割分担と協議の指針である「北九州市の地域福祉2021—2025」(北九州市地域福祉計画)が行政により策定され、また行政計画と協議しながら北九州市社会福祉協議会が中心となって地域社会の福祉課題を解決するため「地域共生！きたきゅうプラン2021～2025」(北九州市地域福祉活動第6次計画)が策定されたところです。

長行校区においても、北九州市の地域福祉計画及び北九州市社会福祉協議会の地域福祉活動計画と連携して少子高齢化や日々の生活に伴って起こりうる様々な課題解決の向けて、地域福祉活動をより一層進めていくためにこの小地域福祉活動計画を策定しました。

地域活動を担う各団体と地域の困りごとを見出すため「アンケート」を全世帯に配布し、その結果に基づいて解決のシステムを構築して具体的に活動を進めていきます。

この計画の策定に当たりご尽力いただきました本計画策定委員会委員、町内会長、民生委員、福祉協力員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様及び、アンケートにご協力いただいた地域の方々に感謝申し上げます、ごあいさついたします。

# 第1章 計画策定に当たって

## 1. 計画の内容

### (1) 住民発信の行動計画

この計画は、長行校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

### (2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、長行校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

### (3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

### (4) 長行校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする計画です。

## 2. 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5か年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きい変化があれば、見直しを行います。

## 3. 計画の策定経過

長行校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、長行校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。令和5年3月3日に立ち上げた同委員会において、24名の委員により10回以上に及ぶ協議の上、長行校区小地域福祉活動計画を策定しました。

## 4. 策定委員



#### 4, 長行校区小地域福祉活動計画策定委員名簿

	氏 名	所属団体	役 職	備 考
1	日野 正義	長行校区社会福祉協議会	会長	策定委員長 自治連合会
2	伊崎 實	長行校区まちづくり協議会	会長	自治連合会
3	下田 豊一	長行校区社会福祉協議会	副会長	体育委員会
4	宮崎 強	長行校区社会福祉協議会	副会長	自治連合会
5	三野 政治	長行校区社会福祉協議会	副会長	保護司
6	樋口 壽子	長行校区社会福祉協議会	書記	年長者クラブ
7	安部 昌子	長行校区社会福祉協議会	会計	食生活改善推進員
8	石原 弘子	長行校区社会福祉協議会	会計	福祉協力員
9	松村 信二	長行校区まちづくり協議会	副会長	自治連合会
10	中村 悟	長行校区まちづくり協議会	副会長	自治連合会
11	黒崎 孝一	長行校区まちづくり協議会	監査	自治連合会
12	松下 駒生	民生委員・児童委員	会長	民児協
13	伊崎 建次	民生委員・児童委員		民児協
14	井上伊佐子	民生委員・児童委員	主任児童委員	民児協
15	新山 政夫	長行校区年長者クラブ	会長	年長者クラブ
16	大住美貴子	長行校区婦人会	会長	婦人会
17	三野賢大郎	長行小校長PTA	会長	
18	福竹百合枝	福祉協力員		
19	竹下 正江	子育てサポーター		
20	三野 良子	母親クラブ	会長	
21	鷹取貴美子	長行市民センター	館長	
22	花田 博之	長行小学校	校長	
23	柏木 修	社会福祉法人双葉会	理事長	
24	下田 俊	児童養護施設双葉学園	園長	
25	桐野 紗衣	小倉南区社会福祉協議会	主事	
26	山口 朱美	小倉南区社会福祉協議会	コーディネーター	

## 第2章 長行校区の現状と課題

### 1, 地域の特性や福祉課題

長行校区は、小倉南区の南部に位置し、区域の多くが国道 322 号線を挟んで、小嵐山、紫川と豊かな自然に恵まれる地域です。校区内には学校や市民センター、医療機関等の社会資源は充実していますが、交通の便については丘陵地帯での不便さも見受けられます。最近では平成 5 年度に大型商業施設が開設され、住民の買い物のスタイルも大きく変容しているところではあります。

高齢化も進んできており、世帯構成も高齢者の単身世帯が占める割合が高い地域です。

長行校区では平成 5 年よりふれあいネットワーク活動が展開されていますが、少子高齢化の影響で高齢化率も高く福祉協力員等福祉活動者の平均年齢も高くなり福祉協力員 1 人当たりの見守り世帯も多く負担が大きくなってきています。そのために校区内では福祉活動者の早急な育成が求められています。現状の問題や困っていることなど、全世帯に対してアンケート調査を行い意見を聴き取りました。

### 2, 人口・世帯数・高齢化率

(北九州市ホームページより)

	人口	世帯数	0~19 歳	65 歳以上	75 歳以上
令和 5 年 (2023)	6 9 4 0 人	3 4 5 2 世帯	9 7 9 人 (14.1%)	2 1 1 8 人 (30.5%)	1 2 3 1 人 (17.7%)
平成 25 年 (2013)	7 9 8 3 人	3 5 3 7 世帯	1 6 9 4 人 (21.2%)	1 9 1 4 人 (24.0%)	8 6 5 人 (10.8%)
平成 15 年 (2003)	8 0 3 8 人	3 1 7 5 世帯	1 7 6 3 人 (21.9%)	1 3 5 5 人 (16.8%)	5 6 8 人 (7.0%)

### 3, 社会資源

小学校	長行小学校
中学校	菅生中学校
保育所・園	徳吉保育所・双葉保育園・菅生児童館
市民センター	長行市民センター・両谷市民センター
福祉施設	双葉学園・特別養護老人ホーム双葉苑・複合型介護老人施設ふたばのその・有料老人ホームいこいの里・グループホーム吉兵衛どんの里
医療機関	都留医院・高根医院・瓜生歯科・相間歯科・オザキ歯科 帖佐整形外科医院
主な商店等	ルミエール・大地の恵み（農協）・コンビニ 3 店・ダイソー・豊島屋等
その他公共施設	両谷出張所・長行交番・西谷郵便局・徳吉郵便局・小倉南消防署三谷分署・長行年長者いこいの家・古川公民館・徳吉集会所・伊崎集会所 吉兼公民館
その他	国際タクシー

# アンケート

長行校区の皆さんが困っていることや、何を必要としているかを知り解決するための参考にするため、全世帯にアンケート調査を行いました。



## アンケートの結果

配布数：1058 枚      回収数：220 枚      回収率：20.8%

### 1. 災害について

○の人数

×の人数

	○の人数	×の人数
避難場所を知っていますか	1 9 4 (88.2%)	2 6 (11.8%)
避難経路を知っていますか	1 6 3 (74%)	5 7 (26%)
緊急時の連絡先はありますか	1 8 0 (81.8%)	4 0 (18.2%)

### 2. 交流の場について

地域の人と交流する場所はありますか	1 5 3 (69.5%)	6 7 (30.5%)
相談する場所はありますか	1 4 6 (66.4%)	7 4 (33.6%)
集まる場所が欲しいですか	1 0 2 (46.4%)	1 1 8 (53.6%)

### 3. 心配事について

困りごとはありますか	6 2 (28.2%)	1 5 8 (71.8%)
相談する人はいますか	1 7 3 (78.6%)	4 7 (21.4%)

### 4. 生活について

買い物に困っていますか	3 1 (14%)	1 8 9 (86%)
ゴミ出しに困っていますか	3 1 (14%)	1 8 9 (86%)
通院に困っていますか	3 4 (15.5%)	1 8 6 (84.5%)

## 考察

アンケートの結果、数字として大きな問題は見受けられなかったが今後高齢化が進んでいくための対応を今から準備しておく必要があり5か年計画を立て実施していく。



# 第3章 目標と計画

## 1, 基本理念「いつまでも誰もが安心して 暮らせるまち おさゆき」

長行校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そこで「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

## 2, 基本目標

### (1) 思いやりの笑顔で 声かけあおう

地域住民みんなが安心して暮らせるよう支援の輪を作り、住民同士の支え合いを目指します。

### (2) つなげよう！三世代で楽しい輪

子どもとの交流を通して校区や町内の行事への参加を促し、住民間のつながりを強めていきます

### (3) 安心安全支え合い、その声かけが命を守る

いつ起こるかかわからない災害に備えるために、地域の連携を強化します。

## 3, 実施項目

<p style="color: red; font-weight: bold;">基本理念</p> <p>「いつまでも誰もが安心して 暮らせるまち おさゆき」</p>	<p><b>基本目標 1</b></p> <p>思いやりの笑顔で 声かけあおう (見守り・心配事・生活支援)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① あいさつによる声かけ活動実施</li> <li>② 敬老会、七夕、クリスマス等声かけ訪問</li> <li>③ マップ作成</li> <li>④ 民生委員児童委員を知ってもらうための取り組み</li> <li>⑤ 年長者クラブと福祉協力員の協力体制をつくる</li> <li>⑥ ゴミ出し支援について</li> </ul>
	<p><b>基本目標 2</b></p> <p>つなげよう！三世代で 楽しい輪 (交流場所の支援)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 各町内で行事を活用して集まる機会を作ろう</li> <li>② 子供との交流を深め、次世代を育てよう</li> </ul>
	<p><b>基本目標 3</b></p> <p>安心安全支え合い、 その声かけが生命を守る (災害)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① マップ作成時災害に対する要援護者を確認する</li> <li>② 日頃からつながりをつくる声かけを行う</li> <li>③ まち協、自治会、社協、福祉協力員の連携強化</li> </ul>

## 4, 重点実施項目

### 基本目標 1 【思いやりの笑顔で声かけあおう】見守り・心配事・生活支援

#### 1, あいさつによる声かけ活動実施（実施予定R6～）

【課題】 声かけの第一歩は挨拶ではないか

【活動目標】 長行校区では高齢化率が 30.5%と高く、また高齢者の単身世帯も多く有り、高齢者のひきこもりや閉じこもりの生活をしている方も少なくない。福祉協力員・民生委員や町内の皆様による見守り対象の高齢者の間で「話し相手が欲しい」との要望が多く聞かれるようになっているため、近隣の人への声かけや挨拶から始める。

#### 2, 敬老会、七夕、クリスマス等声かけ訪問を再開する（実施予定R6～）

【課題】 訪問活動をどうしたらいいか

【活動目標】 今ある行事を活用して何か出来ることはないかと考え、コロナで中止していた敬老会・七夕・クリスマス等のふれあい昼食会を復活させる。行事のお誘いチラシで対象者への訪問がしやすくなり、声かけの機会が増加するうえ同時に高齢者の楽しみも増える

#### 3, マップの作成（見直し）をする（実施予定R6～）

【課題】 一人暮らしの高齢者の把握について

【活動目標】 町内の一人暮らしの高齢者の把握が出来ておらず、いざというときにどこに誰が居るのかわからないため、マップの作成をする。前回から数年がたっていて見直しの必要がある。前回作成したものを参考にして情報交換をしながら作り上げる

#### 4, 民生委員児童委員を知ってもらうための取り組み（実施予定R6～）

【課題】 民生委員児童委員の活動を知らない人がいる

【活動目標】 地域の人の中には 民生委員児童委員が未だわからない人がいる。活動の様子やチラシの作成等の方法の検討を行うようにする。民生委員児童委員と福祉協力員の交流を密にしていく。

#### 5, 年長者クラブと福祉協力員の協力体制をつくる（実施予定R7～）

【課題】 見守り活動をしているのは一緒なのに協力体制ができていない

【活動目標】 福祉協力員の見守りと年長者クラブの友愛訪問が重複して訪問をしているため、情報共有をしてお互いの見守り活動の負担を軽減出来るようにする。

#### 6, ゴミ出し支援について（実施予定R8～）

【課題】 ゴミ出しに困っている人がどの位置にいるのか確認が取れていない

【活動目標】 マップ作成時などで情報を共有し、話し合いをしていく。

## 取り組みの年次計画

取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
挨拶による声かけ活動実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センター</li> <li>・自治会</li> <li>・校区社協</li> <li>・年長者クラブ</li> <li>・民生委員・児童委員</li> <li>・福祉協力員</li> <li>・体育委員</li> <li>・保護司</li> <li>・食生活改善推進員</li> <li>・子育てサポーター</li> <li>・母親クラブ</li> <li>・小・中学校</li> <li>・小・中学校PTA</li> </ul>						継続的な実施
行事の声かけ訪問の再開							
マップの見直し							
民生委員を知ってもらう							
年長者クラブと福祉協力員の協力体制をつくる							
ゴミ出し支援							

## 基本目標2 【つなげよう！三世代で楽しい輪】交流場所の支援

### 1. 各町内で行事（掃除、ウォーキングなど）を活用して集まる機会を作ろう (実施予定R6～)

【課題】 市民センターやつどいの家や集会所など家から遠く集まる場所が無い

【活動目標】 サロンを復活させて集まる機会を増やし場所も検討していく。  
自治会、年長者クラブ、社協で協力していく。

### 2. 子供との交流を深め、次世代を育てよう（実施予定R6～）

【課題】 地域の次世代の子供や親たちとの交流が必要

【活動目標】 校区内の行事は、子供がかかわるものが多く笑顔が輝く関係を継続していく

## 取り組みの年次計画

取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
各町内で行事を活用して、集まる機会を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センター</li> <li>・校区社協</li> <li>・福祉協力員</li> <li>・民生委員</li> <li>・児童委員</li> <li>・自治会 ・学校</li> </ul>						継続的な実施
子供との交流を深め、次世代を育てよう							

### 基本目標 3 【安心安全支え合い、その声かけが生命を守る】災害

#### 1, マップ作成時災害に対する要支援者を確認する（実施予定R6～）

【課題】 災害が起きた時、誰に声かけたら良いかわからない

【活動目標】 災害時に活用できるマップを作成する。又、作成したマップを毎年見直してわかるようにしておき、災害に備えて訓練を行う事が必要になる。

#### 2, 日頃からつながりをつくる声かけを行う（実施予定R6～）

【課題】 改まったの声かけは難しいのではないか

【活動目標】 ゴミ出し、回覧板など日頃の生活の中で見守りしながら声かけをすることから始める

#### 3, まち協、自治会、年長者クラブ、社協、福祉協力員の連携強化（実施予定R6～）

【課題】 災害が起きたときにどのようなつながりにしたら良いか

【活動目標】 災害時における要支援者の確認のため、自治会、年長者クラブ、社協、福祉協力員などの連携が取れるように連絡網を作成して災害に備える。

#### 取り組みの年次計画

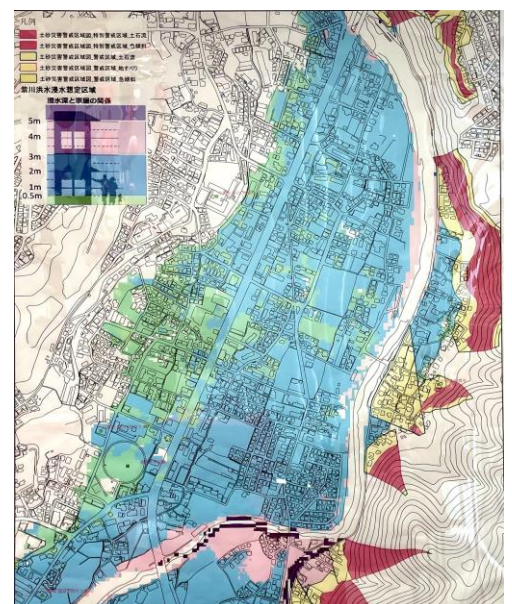
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
マップ作成時、災害に対する要支援者を確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>社協評議員</li> <li>民生委員・児童委員</li> <li>自治会</li> </ul>						継続的な実施
日頃からのつながりを作る声かけを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校</li> <li>町内会</li> <li>年長者クラブ</li> </ul>						
まち協、自治会、年長者クラブ、社協、福祉協力員の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉協力員</li> <li>市民センター</li> </ul>						



普通の時



増水した時



紫川洪水浸水想定区域図

## 第4章 計画の推進

### 1. 計画の承認と周知

- ① 長行校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画を実施する上で必要な関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の作成、配布、ホームページやSNSを通じた校(地)区住民への周知  
その他、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

### 2. 計画を推進するための体制

#### (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、長行校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、必要に応じ、以下のような計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な計画、実施
- ③ 進行管理の実施

#### (2) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

### 3. 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間に第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けて協議を進めていきます。

## 長行校区の主な行事

長行校区では年間を通じて色々な行事を行っています。  
できるだけ参加して皆さんと一緒に楽しみましょう。



どんど焼き (1月)



ふれあいウォーキング (2月)



川の清掃と川まつり (7月)



三世代グラウンドゴルフ (11月)

## 5, 策定活動の経緯

会議	年月	内容	参加者	参加人数
第1回	令和5年3月3日	策定委員メンバー顔合わせ 全体スケジュールの説明	策定委員	24人
第2回	令和5年6月15日	活動の目的と作成手順の説明を受け メンバーとスケジュールを確認した	役員	8人
第3回	令和5年6月28日	現在の問題や今後の理想を確認する ためのアンケートの内容を決めた	策定委員	24人
	令和5年7月15日	アンケートを全世帯に配布		
第4回	令和5年10月3日	アンケート結果の集計をした	役員	9人
第5回	令和5年10月25日	アンケート結果より課題を決めた	策定委員	22人
第6回	令和5年11月15日	実施内容を決めた	役員	8人
第7回	令和5年12月4日	活動の内容を確認しタイトルを決めた	策定委員	19人
第8回	令和5年12月25日	原稿の内容の作成担当を決めた	役員	9人
第9回	令和6年1月22日	原稿の下書き確認 修正	役員	10人
第10回	令和6年2月14日	原稿の再確認	役員	10人
第11回	令和6年2月20日	原稿の最終確認	策定委員	22人
	令和6年3月	印刷依頼		
	令和6年3月末	完成・配布		
	令和6年4月	活動開始		



第1回策定委員会



役員会



策定委員会

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★  
『プチボザウルス』(petit vo saurus)



Petit (プチ:ちっちゃな)  
Volunteer (ボランティア)  
Saurus (サウルス≡恐竜)

**長行校区社会福祉協議会**

〒803-0278 北九州市小倉南区徳吉西3-3-16  
長行市民センター内  
TEL 093-452-3651 FAX 093-452-3652

**小倉南区社会福祉協議会**

〒802-8510 北九州市小倉南区若園5丁目1番2号  
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

**北九州市社会福祉協議会**

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号ウエルとばた内  
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579  
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351  
<http://www.kitaq-shakyo.or.jp/>



どんど焼き